



新年のご挨拶

新年明けましておめでとござい
ます。

本年も昨年同様お引き立てのほどよ
ろしくお願い申し上げます。

昨年は波乱にとんだ一年でありまし
た。国内では夏の猛暑、中越地震・ま
た海外では、インドネシア・スマトラ
沖地震の津波が、インド洋沿岸に大
きな被害を引き起こし世界中の人々の
心に暗い影を落としました。ただ国内
では、うれしい話題もありました。オ
リンピックで日本の選手が、数多くの
金メダルを獲得し日本中を熱くさせて
くれた事です。私達おじさん達も大い
に元気づけられました。

さて、本年は酉年、平穏で無事であ
る事を願わずにはおられません。日本
経済もこのまま回復軌道をたどって
くれればと念願する次第です。

ところで、昨年は名のある企業の
不祥事が相次ぎ、企業のコンプライア
ンスが改めて強く求められた年でもあ
りました。これからの企業経営には、
コンプライアンスを含め、企業の社会
的責任が益々問われる事となるでし
ょう。

弊社も、お客様や地域の人々に愛



長沼商事株式会社
埼玉県所沢市林 1-306-7

世界の粗鋼生産

代表取締役 長沼 正夫

される企業として、気を引き締め、よ
り一層精進して参りたいと思っていま
す。
本年も何卒よろしくご指導賜りたく
お願い申し上げます。

今年度中の世界の粗鋼生産は、この
ままのペースで行きますと初の十億ト
ンに確実に乗るそうです。

粗鋼生産は、世界全体で伸びている
のですが、十四年一月～一〇月までのデ
ータでいきますと、**中国・日本・
アメリカ・ロシア・韓国**の五カ国で世

界の粗鋼生産の**五七%近くを占めてい
ます**。特に中国は二〇〇四年の予想
では、二億六千万トンを、世界の粗鋼生
産の四分の一を占めると予想されてい
ます。二〇〇四年の中国の経済成長
率見通しは、九・二五%と見えていて、一
〇〇五年度は、八%位とみられています。

また鉄鋼など一部加熱気味のものに
は投資抑制がかけられています。広
東省に年一千万トンの安微省に五百万ト
ン規模の最新鋭の設備を設置する予定に
なっています。

この事から今後、中国の粗鋼生産は、
引き続き伸びていく事が予想されてい
ます。

ちなみに**日本ではほぼ前年横ばいの一
億一千万ト前後と予想されています**。
ただ生産の主なもの、高炉が生産す
る圧延・冷延が主流で（圧延とは、主
に造船や厚鋼板・H型鋼など、冷延と
は、圧延された物をさらに薄く延ばし、
自動車鋼板や空き缶の様な薄い鉄板類
など）これらの製造にスクラップを原
料として投入する場合、品種が限られ
ており、新断・HSと言われている上
級品種しか使用しません。

これらの圧延・冷延によって作られ
る高付加商品は、電炉メーカーでは設
備の関係から製造ができず、電炉メー
カーでは異形鋼棒（鉄筋）が主流でH
型鋼などができる電炉は一部に限られ
ています。

しかしスクラップの使用率は、高炉
と電炉を比べますと電炉の方が、高炉
の三〜四倍となっています。

このことから、リサイクルの観点か
ら見ますと**電炉の方が優等生だと言え
るでしょう**。

話がそれてしまいましたが、二〇
〇五年も引き続き世界の粗鋼生産は、
高いレベルで推移すると思われる。

スクラップ予想

気になるスクラップですが、上級
品種については、低級品種との
価格幅は、多少の増減はあると思わ
れますが、自動車関連や造船が好調
な事から大きな変動は無いと思われ
引き続きタイトな状況と予想されま
す。

低級層に関しては、メーカーの増
減産や海外勢の購買意欲により去年
同様変動の激しい一年になるのだ
は？と予想しています。

変動の時期ですが、去年も過去の
データと違う動きをしていますの
で、何とも言えないのが実情です。

ただ言えるのは、**中国が中心とな
り何かしら相場を左右するのは間違
いないでしょう**。

弊社と致しまして、この一年あ
まり変動がなくなければと皆様同様
思う次第です。

「ご報告が遅くなりましたが、
昨年一〇月三〇日をもちまして
ISO14001の更新審査に
て適合認証となりました。
これからもご指導ご鞭撻の程
よろしくお願い申し上げます。」